

新型コロナウイルス感染症対応事業 実績及び効果検証シート【令和2年度】

No	交付対象事業の名称	所管課	支出科目(款-項-目)	事業の概要 ①目的 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象	事業 始期	事業 終期	総事業費	内 コロナ臨時交付金	事業経費内訳	効果検証			備考
										成果	検証	課題・今後の取組	
1	オンライン会議・テレワーク環境整備事業	企画経営課	2-1-13	①コロナ禍の中で急速に普及が進んでいる、オンライン会議及びテレワークの利用促進のため、庁舎内会議室におけるモニター・マイク設備の設置など必要な環境を整備する。 ②備品購入費 ③紀の川市	R3.2	R3.3	2,582,250	2,000,000	65インチモニター等購入費：2,582,250円	モニター、マイク、スタンド、Webカメラ等を8セット購入した。	ウェブ会議を各会議室で行えるようになり感染防止が図られた。	通信環境の拡大充実。	実施計画No.18
2	紀の川市特別定額給付金事業	総務課	2-1-17	①新型コロナウイルス感染症が各家庭に経済的影響を及ぼしていることを踏まえ、市民の生活を支援するため、特別定額給付金を支給する。 ②役務費 負担金、補助及び交付金 ③令和2年4月27日時点の住民基本台帳登録者	R2.6	R3.3	613,842,975	610,000,000	紀の川市特別定額給付金：613,600,000円 口座振替手数料：75,020円 郵送料：167,955円	市民1人当たり1万円を61,360人に支給した。	給付金支給による経済支援を行ったことで市民の負担軽減が図られた。	給付金が、貯蓄に回ったのか、消費に回ったのか、また、消費の場合、市内での消費が市外での消費が不明。	実施計画No.2
3	感染予防・感染拡大防止のための必需物品確保・供給事業	健康推進課	4-1-3	①新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのマスクを準備し、各世帯へ配布する。 ②需用費 役務費 ③各世帯	R2.5	R3.1	78,321,400	76,000,000	マスク購入費：68,310,000円 郵送料：9,842,000円 郵送用タックシール：169,400円	不織布マスク1,350,000枚を購入し、26,426世帯へ配布した。	マスクを購入・配布したことにより、感染防止が図られた。	余ったマスクについては備蓄する。	実施計画No.1
4	インフルエンザ予防接種費用臨時助成金	健康推進課	4-1-3	①新型コロナウイルス感染症とインフルエンザが同時期に感染拡大することを抑制し、医療体制の確保と新型コロナウイルス感染症への早期判定等の対応ができるよう、インフルエンザ予防接種費用の一部を助成する。 ②補助金 ③生後6か月から65歳未満のインフルエンザ予防接種の任意接種対象者	R2.9	R3.3	32,114,090	30,000,000	インフルエンザ予防接種費用：26,455,580円 事務手数料：5,658,510円	インフルエンザ予防接種希望者17,648件に対し補助を行った。	新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行を回避することができた。	現状及び効果等を検証しつつ、継続した支援等について検討を行う。	実施計画No.17
5	育児臨時特別支援給付金給付事業	こども課	3-2-1	①新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、育児を行う産婦や家族に対する臨時的支援策として、育児臨時特別支援給付金を給付する。 ②役務費 補助金 ③令和2年4月28日以後に出生した子どもの母	R2.8	R3.3	26,550,404	24,000,000	育児臨時特別支援給付金：26,510,000円 郵送料：40,404円	期間内に出生した子ども241人の母親に対し、子ども1人当たり11万円を支給した。	給付金支給により速やかな経済支援を行ったことで子育て世帯の負担軽減が図られた。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による子育て世帯の更なる生活支援を実施。	実施計画No.9
6	母子保健衛生費補助金	こども課	4-1-2	①新型コロナウイルスの感染を懸念し、対面での保健指導や個別相談に不安を抱える妊産婦が増えていることから、オンラインでの面談等が行える体制づくりを整備する。 ②需用費 役務費 委託料 使用料及び賃借料 備品購入費 ③妊産婦	R2.7	R3.3	733,082	366,000	子育てアプリシステム改修委託料：330,000円 タブレット購入費：287,320円 タブレット用付属品購入費：33,880円 通信費用：70,002円 サービス利用料：11,880円	子育てアプリ「母子モ」のシステムを改修した。	アプリを活用することにより、対面と同等のサービスをオンラインで受けられ、妊産婦の感染防止が図られた。	アプリの周知方法の検討を行う。	実施計画No.13
7	経営安定化給付金事業	商工労働課	7-1-2	①新型コロナウイルス感染症の拡大により、影響を受けている小規模事業者の経営安定化を促す。 ②補助金 役務費 需用費 ③売上が15%以上減少した小規模事業者	R2.6	R3.3	119,037,327	116,280,000	経営安定化給付金：118,600,000円 チラシ印刷費：199,882円 チラシ折込料：167,442円 郵送料：70,003円	1事業者当たり10万円を1,186者に給付した。	地域経済を支えている小規模事業者を支援することで地域経済の維持と活性化が図られた。	対象事業者への迅速な事業周知・速やかな書類審査と支援措置を講じるためのスキームを構築する必要がある。	実施計画No.4
8	きのかわスーパープレミアム商品券事業補助	商工労働課	7-1-2	①商工会が実施する、購入額にプレミアム分を上乗せしたプレミアム商品券事業に対し補助金を交付、地域経済再生のきっかけを創出する。 ②補助金 ③紀の川市商工会	R2.8	R3.3	56,263,794	40,000,000	プレミアム分：47,798,500円 事務費分：8,465,294円	1セット13,000円分の商品券を10,000円で16,000セット販売した。	市内の消費喚起を促すことで地域経済の活性化が図られた。	購入希望者の拡大と利用可能店舗への加盟促進。	実施計画No.7 実施計画No.8
9	水道事業会計繰出	水道総務課	4-1-7	①新型コロナウイルス感染症の影響を及ぼしている市民の生活や事業活動の支援と、積極的な手洗いの実施による感染予防を目的として水道料金(基本料金)を減免する。 ②補助金 ③水道使用者	R2.7	R3.3	186,986,100	182,000,000	基本料金減免分：186,810,100円 システム改修費分：176,000円	7月請求分から12月請求分までの6ヶ月分の基本料金を免除した。	基本料金を免除することで市民生活の負担軽減が図られた。	—	実施計画No.3
10	家庭学習支援事業	教育総務課	10-1-3	①新型コロナウイルス感染症の影響による家庭学習に要した経費(学習用ドリル等の教材購入費)を支援する。 ②消耗品費 役務費 ③令和2年7月1日時点における市内在住の小中学校の児童・生徒	R2.6	R3.1	22,819,384	22,000,000	図書カード購入費：22,720,000円 郵送料：99,384円	児童生徒1人当たり5,000円分の図書カードを4,544人に配布した。	小中学生に図書カードを配布することで、家庭での学習の支援が図られた。	市内利用店舗数。	実施計画No.5
11	学校教育におけるICT環境整備事業	教育総務課	10-2-1 10-3-1	①新型コロナウイルス感染症による学校の長期臨時休業などの非常時においても子どもたちの学びを保障できるよう、家庭等でも学び続けられる環境整備のためにGIGAスクール構想における「1人1台端末」の整備を前倒して実施する。 ②備品購入費 ③小・中学校(小・中学生)	R2.7	R3.3	279,455,000	70,000,000	学習用端末購入費：279,455,000円(教員分、予備分含む)	小学校用に3,195台、中学校用に1,591台の端末を購入した。	非常時の遠隔教育を行うのに必要となる端末を揃えることができたため、感染拡大に伴う臨時休業時に際などに学習機会を保障する環境が整った。	・家庭の通信環境の整備。 ・家庭との遠隔授業に向けた教員及び児童生徒の端末操作等のスキル向上が必須。	実施計画No.6

新型コロナウイルス感染症対応事業 実績及び効果検証シート【令和2年度】

No	交付対象事業の名称	所管課	支出科目(款-項-目)	事業の概要 ①目的 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象	事業 始期	事業 終期	総事業費	内 コロナ臨時交付金	事業経費内訳	効果検証			備考
										成果	検証	課題・今後の取組	
12	学校保健特別対策事業費補助金	教育総務課	10-2-1 10-3-1	①新型コロナウイルス感染症の感染予防・感染拡大防止のための必需物品として手指消毒用アルコール液を購入し、小中学校に配置する。 ②需用費 ③小・中学校	R2.7	R3.3	2,392,200	400,000	アルコール消毒液購入費：2,392,200円	小中学校へ消毒用アルコール225缶(1斗缶)を購入配布した。	消毒や手洗いを奨励することで感染防止が図られた。	・今後の感染対策に関する国の動向等を踏まえ、必要な支援等について継続して行う。 ・学校の使用状況や在庫等の確認を行い、効率的な配布方法等の検討を行う。	実施計画No.10
13	学校保健特別対策事業費補助金	教育総務課	10-2-1 10-3-1	①新型コロナウイルス感染症による学校の臨時休業などの非常時においても子供たちの学びを保障できるよう、家庭等でも学び続けられる環境整備のために、遠隔授業実施にかかる教材を整備する。 ②需用費 ③小・中学校	R2.7	R3.3	38,424,390	13,329,000	デジタル教科書購入費：38,424,390円	小中学校へデジタル教科書を購入配布した。	非常時の遠隔教育を行うのに必要となるデジタル教科書を揃えることができたため、感染拡大に伴う臨時休業時に学習機会を保障する環境が整った。	デジタル教科書を使用する教員のスキルの向上。	実施計画No.11 実施計画No.25
14	公立学校情報機器整備費補助金	教育総務課	10-2-1 10-3-1	①新型コロナウイルス感染症による学校の臨時休業などの非常時においても子どもたちの学びを保障できるよう、家庭等でも学び続けられる環境整備のために、遠隔授業実施にかかる機器を整備する。 ②備品購入費 ③小・中学校	R2.7	R3.3	3,201,660	322,000	書画カメラ購入費：3,201,660円	小中学校へ書画カメラを購入配布した。	非常時の遠隔教育を行うのに必要となるデジタル教材を揃えることができたため、感染拡大に伴う臨時休業時に学習機会を保障する環境が整った。	デジタル教材を使用する教員のスキルの向上。	実施計画No.12
15	学校臨時休業対策費補助金	教育総務課	10-6-4	①新型コロナウイルス感染症対策にかかる小中学校の臨時休業に伴う学校給食の中止により納入業者との間に生じた違約金等について、学校の設置者である市が負担する。 ②補償、補填及び賠償金 ③紀の川市・保護者	R2.6	R3.3	1,250,407	312,000	損失補償：1,250,407円	学校給食用牛乳の損失を補填した。	牛乳のキャンセル代を市が補償したことにより、保護者の負担がなかった。	食材の有効活用の方法について検討を行う。	実施計画No.14
16	公立学校情報機器整備費補助金	教育総務課	10-2-1 10-3-1	①新型コロナウイルス感染症による学校の臨時休業などの緊急時においても子どもたちの学びを保障できるよう、家庭等でも学び続けられる環境整備のために、GIGAスクール構想の実現や、遠隔授業の実施に向けて、教員等をサポートする専門人材を配置する。 ②委託料 ③小・中学校	R2.7	R3.3	12,540,000	5,000,000	スクールサポート委託料：12,540,000円	GIGAスクールサポーターが作成したマニュアル等によりICT支援員6人が小中学校23校のICT環境の整備及び児童、生徒、教員への支援を行った。	非常時の遠隔教育を行うのに必要となるデジタル知識を教員が身に付ける指導を受け、感染拡大に伴う臨時休業時に学習機会を保障する環境の整備を図っている。	・今後のICT支援体制の充実について検討を行う。 ・端末の持ち帰りに向けたルールやマニュアルの作成。	実施計画No.15
17	感染拡大防止のためのサーマルカメラ等設置事業	教育総務課	10-2-1 10-3-1	①新型コロナウイルス感染症対策として、登校時の児童生徒の体温チェックを行い、速やかに発熱者を発見し適切な対策を講じるためにサーマルカメラ等を設置する。 ②備品購入費 ③小・中学校(小・中学生)	R3.2	R3.3	11,041,800	10,000,000	サーマルカメラ購入費：11,041,800円	小中学校にサーマルカメラ、三脚、PC等を21セット購入配布した。	・サーマルカメラを設置したことにより、発熱者を発見することができ学校内での感染防止が図られた。 ・自動で一度に複数人の測定ができるため、教職員の負担軽減も図ることができた。	児童生徒だけでなく、来客、学校行事等での保護者、業者等の出入りについても利用し、有効に活用できている。	実施計画No.19
合計							1,487,556,263	1,202,009,000					